

## PM学会四国支部 12 月度研究会記録

日 時： 2010 年 12 月 16 日(木) 14:00～16:10

場 所： 香川大学幸町北（教育学部）キャンパス 研究交流棟 5 F 研究交流スペース

主 催： プロジェクトマネジメント学会四国支部

香川大学技術交流協力会 PM 研究会

講 演： 「研究における PM 手法の効果について」

講 師： 香川大学 総合情報センター・工学部 教授 今井 慈郎 氏

出席者： 29 名

司会進行：板倉 宏昭（四国支部事務局）

内 容：

香川大学総合情報センター・工学部教授 今井慈郎氏による公演があった。(約 120 分)

研究を成功裏に推移(できれば完了)させるためには、プロジェクト管理手法が必要であることは明確であろう。

国際会議の発表研究などの事例に着目して、いくつかの研究実践状況を検討し、プロジェクト管理手法の効果について考察していただいた。対象とする国際会議はいつでも欧州開催で、情報化推進(e-Society をテーマ)、ネットワーク研究(Networked Digital Technology をテーマ)および WWW および計算機応用(WWW/Internet、Applied Computing をテーマ)とする会議である。場所柄、西欧の事例が主体となるが、北米やアジアの事案にも言及していただいた。

また、これまでの研究の一部について、プロジェクト管理手法に照らしてその問題点や改善すべき事案について議論し、プロジェクト管理手法の必要性や効果について具体的に考究していただいた。

研究会終了後、香川大学生協にて懇親会を実施した。

以 上